



第16期上半期 2012年1月1日～2012年6月30日

# SIOS Report Vol.12

# Software for Innovative Open Solutions

私たちは、夢溢れるソフトウェアテクノロジーで  
価値を創造し、社会の発展に貢献します。

## 株主・投資家の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

また平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、第16期上半期（2012年1月1日～2012年6月30日）の「SIOS Report Vol.12」を皆様にお届けし、同期間の業績のご報告とともに、今後の見通し等につきましてご説明申し上げます。



代表取締役社長  
喜多 伸夫

## 当上半期のポイント

### ■ 売上高 2,980百万円（前年同期比 21.3%増）

- ▷ [LifeKeeper]<sup>(1)</sup>は、新規案件獲得が堅調に推移
- ▷ [Red Hat Enterprise Linux]<sup>(2)</sup>は、旧製品の減収影響があるものの、新規受注金額は堅調に推移
- ▷ MFP関連ソリューション<sup>(3)</sup>は、順調に伸長し収益貢献
- ▷ クラウドコンピューティング<sup>(4)</sup>（以下、クラウド）を活用したシステム導入支援が順調に推移し増収

### ■ 営業利益 △0百万円（前年同期は△158百万円）

### ■ EBITDA 146百万円（前年同期は△2百万円）

- ※ EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却額
- ▷ 徹底したコスト削減の継続により損失額は縮小

以上により、当上半期の業績は、次頁の財務ハイライトに記載する結果となりました。

当上半期事業環境は、長引く円高や欧州の債務危機等により依然として先行き不透明な状況ではあるものの、国内景気は緩やかに持ち直しの傾向が見られます。

このような中、当社グループは、ITを通じて顧客企業のコスト削減や競争力強化を実現すべく、引き続き高い市場成長が継続しているクラウドや、従来からの強みであるオープンソースソフトウェア<sup>(5)</sup>（以下、OSS）に関連する領域での活動を推進してきました。

今後とも、より一層のご指導ご鞭撻をいただけますよう、よろしく申し上げます。

## 目次

株主・投資家の皆様へ	1
財務ハイライト	2
サイオスの取り組み	3、4、5、6
要約連結財務諸表	7、8
事業概況(連結)	9
会社概要/株式の状況	10

(1) 米国子会社SIOS Technology Corp. (旧SteelEye Technology, Inc.) の開発製品。本番稼働のサーバーとは別に、同じ環境の予備サーバーを待機させ、万が一の障害の際には自動的に予備サーバーに業務を引き継がせる役割を担うHA（ハイアベイラビリティ）クラスターソフトウェア。

(2) 世界をリードするオープンソリューションプロバイダーRed Hat, Inc.が開発するLinux OS。

(3) MFP（Multi Function Peripheralの略、1台でプリンタ、スキャナー、コピー、FAXなどの機能を兼ねる機器など複数の機能を搭載した複合的な周辺機器のこと）上で操作できる文書管理ソフト「Quickスキャン」等。

(4) コンピュータ処理をネットワーク（通常はインターネット）経由で、サービスとして利用できる新しいコンピュータの利用形態。

(5) ソフトウェアの設計図にあたるソースコードを無償で公開し、使用・改良・再配布ができるソフトウェア。

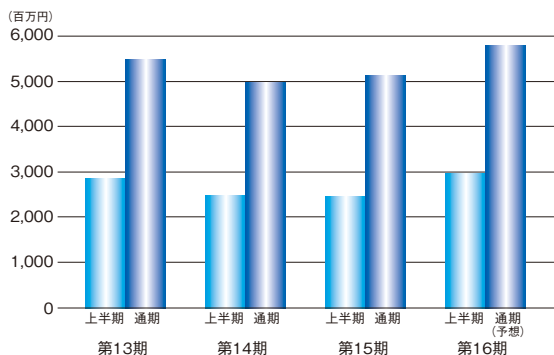
(単位：百万円)

	第13期		第14期		第15期		第16期	
	上半期	通 期	上半期	通 期	上半期	通 期	上半期	通期(予想)
売上高	2,854	5,480	2,493	4,987	2,457	5,110	2,980	5,800
営業利益(△損失)	43	10	△ 68	△ 283	△ 158	△ 155	△ 0	50
経常利益(△損失)	40	9	△ 66	△ 286	△ 159	△ 161	△ 2	50
当期純利益(△損失)	△ 19	△ 33	△ 87	△ 312	△ 167	△ 247	△ 45	0
包括利益	—	—	—	—	△ 170	△ 273	△ 40	—
EBITDA*	215	356	101	52	△ 2	151	146	230
総資産	4,730	4,212	3,775	3,232	2,795	2,775	2,884	—
純資産	2,180	2,120	2,000	1,717	1,551	1,447	1,385	—
1株当たり当期純利益(△損失) (円)	△ 224	△ 380	△ 1,008	△ 3,603	△ 1,936	△ 2,855	△ 521	0
1株当たり純資産 (円)	24,835	24,169	22,752	19,485	17,504	16,372	15,959	—
社員数(名)*	189	195	211	197	199	199	203	—

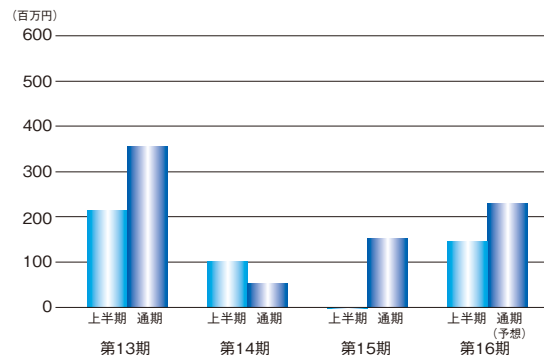
\*EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却額

\*社員数は、臨時雇用者数を除く

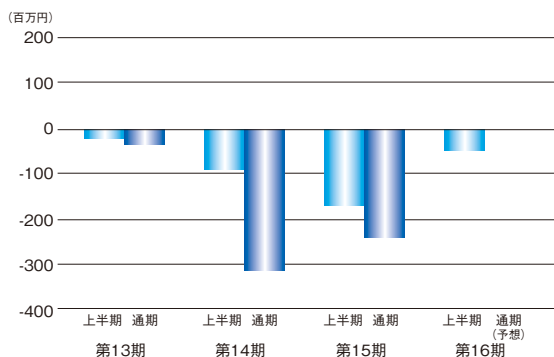
## 売上高



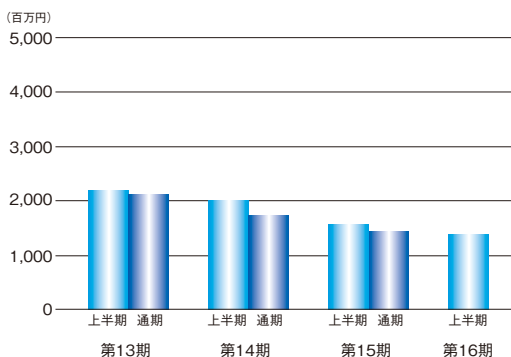
## EBITDA



## 当期純利益(△損失)



## 純資産



# サイオスの取り組み

## 注力分野

### クラウド

高い技術力とサポートでGoogle Appsの国内導入実績は業界No.1!



### OSS

技術力とサポートは創業以来の強み!

## 中期的な経営目標

当社グループは、中期的に

**「売上高100億円 EBITDA15億円」**

を目指します。

## 当社グループの事業領域

### オープンシステム基盤事業

### Webアプリケーション事業

OSS  
ワンストップソリューション  
(<sup>6</sup>)

#### 事業継続ソリューション

「LifeKeeper」  
「DataKeeper」(<sup>7</sup>)

#### オープンソースソリューション

「Red Hat Enterprise Linux」  
「JBoss Enterprise Middleware」(<sup>8</sup>)  
「OSSよろず相談室」(<sup>9</sup>)

#### オープンソースソフトウェア (OSS) 関連サービス

#### クラウドソリューション

「SIOS Integration for Google Apps」(<sup>10</sup>)  
「Gluegent Gate」(<sup>11</sup>)  
「Gluegent Apps」(<sup>12</sup>)

#### SIOS Applications

MFP関連ソリューション

(<sup>6</sup>) オープンソースソフトウェア (OSS) を活用した企業システムの構築におけるコンサルティングから開発、構築、保守サポートまでをワンストップで提供し、経営コストの削減を総合的に支援するサービス。

(<sup>7</sup>) 米国子会社SIOS Technology Corp.の製品。データの複製を別の場所にリアルタイムに保存することを実現するソフトウェア。

(<sup>8</sup>) 世界をリードするオープンソリューションプロバイダーRed Hat, Inc.が提供するエンタープライズ向けに最適化されたオープンソースの統合ミドルウェア製品。

(<sup>9</sup>) オープンソースソフトウェアに関する調査・解析/テクニカルサポート/開発支援など、各種技術サポートを提供しています。

(<sup>10</sup>) Googleが提供する、メール、インスタントメッセージ、スケジュール管理、ワープロ・表計算等をパッケージにしたホスティング型アプリケーションサービス、Google Appsとお客様の既存の情報システムを直接連携させるサービス。

(<sup>11</sup>) 各種クラウドサービスへのアクセスを特定のネットワークや許可された端末のみに制限するなど、各社のポリシーに沿ったアクセス制御に加え、ID管理・シングルサインオンを実現するクラウドソリューション。

(<sup>12</sup>) 社内のワークフロー、グループスケジュール、アドレス管理をクラウド化し、業務の改善、効率化を行うGoogle Apps拡張ソリューション。

### 子会社グルージェントの体制を拡充し、クラウド事業を強化

当社は、拡大を続けるクラウド市場に対する事業の強化を図るために、本年7月よりグループ体制の大幅な見直しを行い、クラウド関連の事業を、株式会社グルージェント（以下、グルージェント）に集約し、クラウド分野に専業展開することを決定いたしました。これに伴い、30人の専任者の組織で同事業を推進します。

企業システムのクラウド移行は、震災などによる企業システムへのリスクの回避、コスト意識の変化、スマートデバイスの導入によるワークスタイルの変化などにより現在も急速に進んでいます。

企業システムのクラウド移行において「最先端ワークスタイルの提案」「企業内ITシステムのクラウド化」「Google Appsの導入」を実現するソリューションを提供してまいります。



## Gluegent Cloud Integration Service

Google Apps 70万アカウントの導入実績を誇る No.1クラウドインテグレーター!

### ストックラボラトリーを連結子会社化

当社は、本年8月、株式会社ストックラボラトリー（以下、ストックラボラトリー）の一部株式を既存株主から取得し、併せて同社の実施する第三者割当増資を引き受け、連結子会社としました。

ストックラボラトリーは、ネットワーク関連機器の販売や、ネットワークの設計及び構築支援サービスを中心に事業を展開している企業です。

当社グループがこれまで培ってきたクラウドコンピューティングやオープンソースソフトウェア関連の技術と、ストックラボラトリーが得意とするネットワーク関連の技術を結集することで、より高品質・高付加価値なソリューションを提供することが可能

となり、既存顧客の深耕、及び新規顧客の獲得等も期待できることから、連結子会社としました。

#### ■概要

- (1) 商号：株式会社ストックラボラトリー
- (2) 代表者：勝部 直人
- (3) 所在地：東京都中央区
- (4) 設立：2010年2月
- (5) 事業内容：ネットワーク関連機器の販売やネットワークの設計及び構築支援サービス、海外のソフトウェアやハードウェアの販売・技術サポート
- (6) 当社出資比率：85.3%



### 日本マイクロソフトとの協業により、Windows Azure™に対応したOSSサポートサービス「サイオスOSSよろず相談室 for Cloud」を開始

当社は、マイクロソフトのパブリッククラウド用プラットフォームWindows Azure™上のサポートサービスに関して、日本マイクロソフト株式会社とパートナー契約を締結し、クラウド環境でOSSを利用する企業向けに、Windows Azure™に対応した新しいサポートサービス「サイオスOSSよろず相談室 for Cloud」の提供を開始しました。

今回提供を開始する「サイオスOSSよろず相談室 for Cloud」

は、昨今情報システムのクラウド化を進める企業が増加する中、情報システム担当者から多く寄せられる、「パブリッククラウド上に構築されたシステムも対象としたOSSサポートを提供して欲しい。」という要望に応える形で、従来のサポート範囲をクラウド環境にも拡大し、Windows Azure™上に構築されたシステムに対してOSSサポートを提供するものです。

### 企業向け「スマートデバイスソリューション」の提供開始

当社は、本年6月より企業によるスマートデバイス導入を支援する、新しいサービス「サイオス スマートデバイス ソリューション」の提供を開始しました。

スマートフォン、タブレットPCなどのスマートデバイスの普及・高機能化などにより、それらのデバイスを業務で活用する企業が急激に増加しています。しかしながら、導入時には情報漏えい

やデバイスの紛失・盗難などのセキュリティ、導入後にはデバイスの運用・管理など解決しなければならない様々な課題を抱えています。

本サービスは、企業がスマートデバイスを業務に導入する際に発生する、これらの様々な課題を解決するトータルソリューションを提供します。

#### ■サービスラインナップ



#### コンサルティング

活用方法、機種選定、設定内容の詳細、セキュリティ対策、アプリケーション選定、運用ルールや業務プロセスの策定等、ご要望に応じたコンサルティング



#### 一括初期設定 (キットニング)

大量のスマートデバイスを導入する際の面倒な初期設定を自動化し、複数台の同時処理が可能。コスト削減も実現



#### モバイルデバイス マネジメント (MDM)

スマートデバイスの導入から・運用・使用停止に至るまでを一括管理。紛失時の遠隔データ消去やアプリの配布等必須機能を搭載



#### セキュリティ

デバイス認証証明書を発行し、不正な端末や許可されていない端末からのアクセスを防ぎ、企業及び組織のネットワーク全体のセキュリティを確保

## Fusion-io社の「ioDrive」向けに「LifeKeeper」の国内販売を開始

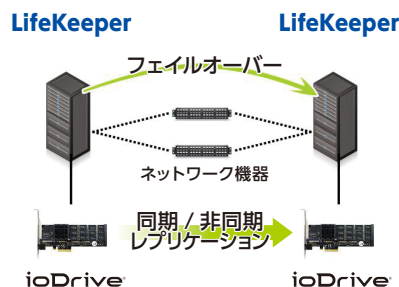
当社は、これまでに国内外で多くの導入実績を持つ「LifeKeeper」を、Fusion-io社の「ioDrive（フラッシュメモリをPCI-Expressボードに実装した超高速ストレージ製品）」向けに、日本国内での販売を開始しました。

当社は、本製品について、米国及びヨーロッパでは既に提供を開始しており、全世界で今後3年間で900本の販売を見込んでいます。

次世代の高速半導体ストレージの「ioDrive」は、共有外部ストレージと比較して超低レイテンシー（データ応答の遅延時間）で、証券取引や通信サービスのように、重要なデータを扱い、頻繁に取引が行われる大規模なWebサービスでの利用が進んでいます。

そのようなサービスを支えるシステムは、ミッションクリティカル性が高く、障害が発生するとビジネス機会の損失や顧

客・取引企業との信頼を失うリスクがあるため、高可用性が求められます。「ioDrive」に、HAクラスター<sup>(\*)13)</sup>、データレプリケーション<sup>(\*)14)</sup>機能を有する「LifeKeeper」を組み合わせることにより、「ioDrive」の高性能を活かした、高可用性のあるシステムを実現することができます。



(\*)13 HA = High Availability (高可用性)。情報システムの障害発生時に待機用システムへの自動切換えを行い、システムダウンを回避する機能。

(\*)14 同じデータを複数の記憶装置に格納し、信頼性やフォールトトレラント性やアクセス容易性を強化する機能。

## 2012年、創立15周年を迎えました

当社は、2012年5月23日に創立15周年を迎えました。

これもひとえに、皆様のご支援、ご愛顧の賜物と心から感謝いたしております。

当社は、1997年の創業以来、OSSを軸に、WebアプリケーションやOS（基本ソフトウェア）、ITシステムの開発・基盤構築・運用サポート等の事業を展開し、現在はこれらにクラウド技術を加え、新たな価値創造とそのご提供に取り組んでおります。

これからもテクノロジー集団として、革新的なソフトウェア

技術を追求し、世界のIT産業に影響のある存在、「インフルエンサー」となって価値を創造・提供することで、社会の発展に貢献してまいります。

これを機に社員一同決意を新たに、従業員全員の知恵を結集し、一層の努力をして皆様のご愛顧にお応えしていく所存でございます。

今後ともなお一層のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度末 2011年12月31日	当第2四半期 連結会計期間末 2012年6月30日
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>2,321,088</b>	<b>2,518,803</b>
現金及び預金	1,180,418	1,460,204
受取手形及び売掛金	694,745	603,662
商品及び製品	764	150
仕掛品	29,349	25,459
原材料及び貯蔵品	277	277
繰延税金資産	13,068	13,364
前渡金	333,217	345,530
その他	80,281	78,665
貸倒引当金	△ 11,034	△ 8,514
<b>固定資産</b>	<b>454,718</b>	<b>365,337</b>
有形固定資産	75,405	69,707
無形固定資産	190,889	106,028
投資その他の資産	188,423	189,602
<b>資産合計</b>	<b>2,775,806</b>	<b>2,884,140</b>

(単位:千円)

	前連結会計年度末 2011年12月31日	当第2四半期 連結会計期間末 2012年6月30日
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>	<b>1,219,260</b>	<b>1,388,098</b>
買掛金	241,559	255,546
1年内返済予定の長期借入金	2,100	2,100
未払法人税等	41,609	79,518
前受金	757,231	829,218
その他	176,759	221,714
<b>固定負債</b>	<b>109,512</b>	<b>110,608</b>
長期借入金	7,700	6,650
退職給付引当金	95,984	99,993
その他	5,827	3,965
<b>負債合計</b>	<b>1,328,772</b>	<b>1,498,707</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>	<b>1,816,571</b>	<b>1,771,350</b>
資本金	1,481,520	1,481,520
資本剰余金	861,305	472,108
利益剰余金	△ 477,258	△ 133,282
自己株式	△ 48,995	△ 48,995
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>△ 397,012</b>	<b>△ 387,573</b>
新株予約権	15,591	1,396
少数株主持分	11,882	260
<b>純資産合計</b>	<b>1,447,033</b>	<b>1,385,433</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>2,775,806</b>	<b>2,884,140</b>

◆ 連結貸借対照表 ◆

**資産**

流動資産は、現金及び預金の増加279百万円、売掛金の減少91百万円等の要因により、2,518百万円（前連結会計年度末比8.5%増）となりました。

固定資産は、のれんの減少76百万円等の要因により、365百万円（同19.7%減）となりました。

この結果、総資産は、2,884百万円（同3.9%増）となりました。

**負債**

流動負債は、買掛金の増加13百万円、未払法人税等の増加37百万円、前受金の増加71百万円等の要因により、1,388百万円（前連結会計年度末比13.9%増）となりました。

固定負債は、退職給付引当金の増加4百万円等の要因により、110百万円（同1.0%増）となりました。

この結果、負債合計は、1,498百万円（同12.8%増）となりました。

**純資産**

純資産合計は、当上半期において純損失45百万円を計上したこと等の要因により、1,385百万円（前連結会計年度末比4.3%減）となりました。なお、2012年3月22日に開催した第15期定時株主総会で決議された「資本準備金の額の減少並びに剰余金の処分」が同年3月31日に効力を生じたことから、資本剰余金が389百万円減少し、利益剰余金が同額増加しております。



## 連結損益計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 自 2011年 1月 1日 至 2011年6月30日	当第2四半期累計期間 自 2012年 1月 1日 至 2012年6月30日
売上高	2,457,703	2,980,511
売上原価	1,564,739	1,794,271
売上総利益	892,963	1,186,239
販売費及び一般管理費	1,050,998	1,186,847
営業損失(△)	△ 158,034	△ 607
営業外収益	1,573	1,231
営業外費用	3,500	3,555
経常損失(△)	△ 159,961	△ 2,932
特別利益	—	27,834
特別損失	1,759	270
税金等調整前四半期純利益(△損失)	△ 161,721	24,630
法人税、住民税及び事業税	7,403	74,495
法人税等調整額	△ 2,440	△ 296
法人税等合計	4,963	74,119
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△ 166,685	△ 49,568
少数株主利益(△損失)	1,231	△ 4,347
四半期純損失(△)	△ 167,916	△ 45,220

## 連結包括利益計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 自 2011年 1月 1日 至 2011年6月30日	当第2四半期累計期間 自 2012年 1月 1日 至 2012年6月30日
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△ 166,685	△ 49,568
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△ 3,807	9,438
その他の包括利益合計	△ 3,807	9,438
四半期包括利益	△ 170,493	△ 40,130
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△ 171,724	△ 35,782
少数株主に係る四半期包括利益	1,231	△ 4,347

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 自 2011年 1月 1日 至 2011年6月30日	当第2四半期累計期間 自 2012年 1月 1日 至 2012年6月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	81,405	315,040
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 8,214	△ 41,138
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 138,392	△ 2,955
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 3,750	8,839
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 68,952	279,786
現金及び現金同等物の期首残高	1,125,195	1,180,418
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,056,242	1,460,204

### ◆ 連結キャッシュ・フロー計算書 ◆

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末に比べ279百万円増加し1,460百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

#### 営業活動によるキャッシュ・フロー

のれん償却額118百万円、売上債権の減少額93百万円、前受金の増加額67百万円、法人税等支払額35百万円等の要因により、営業活動により得られた資金は315百万円(前年同期は81百万円の獲得)となりました。

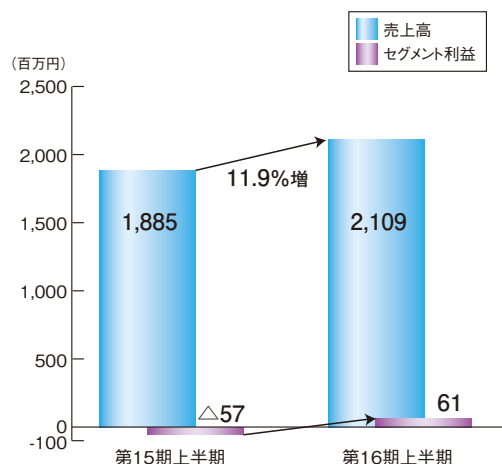
#### 投資活動によるキャッシュ・フロー

事業譲受による支出23百万円、子会社株式の取得による支出25百万円等の要因により、投資活動により使用した資金は41百万円(前年同期は8百万円の使用)となりました。

#### 財務活動によるキャッシュ・フロー

リース債務の返済による支出5百万円等の要因により、財務活動により使用した資金は2百万円(前年同期は138百万円の使用)となりました。

## ■ オープンシステム基盤事業



**売上高** 2,109百万円 (前年同期比 11.9%増)

**セグメント利益** 61百万円 (前年同期は △57百万円)

### 売上高

#### [国内]

- ・「LifeKeeper」の新規案件獲得が堅調に推移
- ・「Red Hat Enterprise Linux」は、旧製品の減収影響があるものの、現行製品の新規受注は堅調に推移

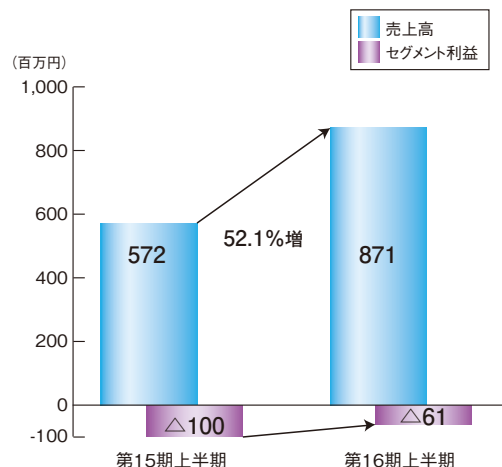
#### [海外]

- ・米州、欧州が堅調に推移、その他地域（アジア・オセアニア）は横這い

### セグメント利益

- ・上記要因により、黒字転換

## ■ Webアプリケーション事業



**売上高** 871百万円 (前年同期比 52.1%増)

**セグメント利益** △61百万円 (前年同期は △100百万円)

### 売上高

- ・クラウド分野の製品、サービスは順調に推移
- ・MFP関連ソリューションも順調に伸長
- ・前第2四半期に株式会社SIIISを子会社化したことにより増収

### セグメント利益

- ・クラウドを活用したシステム導入支援が順調に推移し、損失額の縮小に寄与

## 会社概要

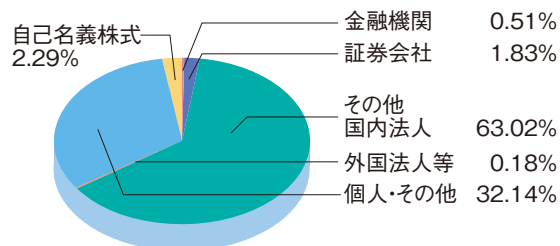
会社名	サイオステクノロジー株式会社 (英語表記：SIOS Technology, Inc.)
本社住所	東京都港区虎ノ門四丁目1番28号 虎ノ門タワーズ
設立	1997年5月23日
資本金	1,481百万円
社員数	連結 228名 個別 148名
役員	代表取締役社長 喜多伸夫 取締役 大塚厚志 取締役 福田敬 取締役 藤枝純教 取締役 伊藤正喜 常勤監査役 平松祐樹 監査役 古畑克巳 監査役 齊藤哲男
子会社	SIOS Technology Corp. (California, USA) 赛欧思(北京)科技有限公司 (北京市、中国) 株式会社グルージュエント (東京都港区) 株式会社SIIS (福岡市博多区) 株式会社ストークラボラトリー (東京都中央区) (2012年8月31日現在)

## 株式の状況

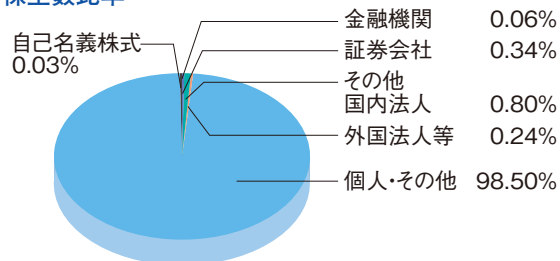
発行可能株式総数	150,000株
発行済株式総数	88,744株
	※自己株式2,040株を含む
株主数	2,868名

### ●所有者別株式分布状況

#### 株式数比率



#### 株主数比率



## 株主メモ

事業年度	1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月
基準日	毎年12月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸ノ内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031（フリーダイヤル） 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国支店でっております。 <b>■住所変更等のお申出先について</b> 株主様の口座のある証券会社にお申出ください。 なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
公告の方法	電子公告とします。 ただし、事故その他のやむを得ない事由によって公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
上場取引所	東証マザーズ
コード番号	3744